龍田

十三

津田文庫
文庫1
1764
12

早稲田大学
圖書館藏書

つだ文庫

第

龍圖 曲出一指子ル
位中立

景

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

010190605391

つとめあるべきものなり
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
そこにぬぎすてぬ　女　さしぬぎそ裾よ
[illegible]
[illegible]
こゝにこゝにこゝに　下一八一
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

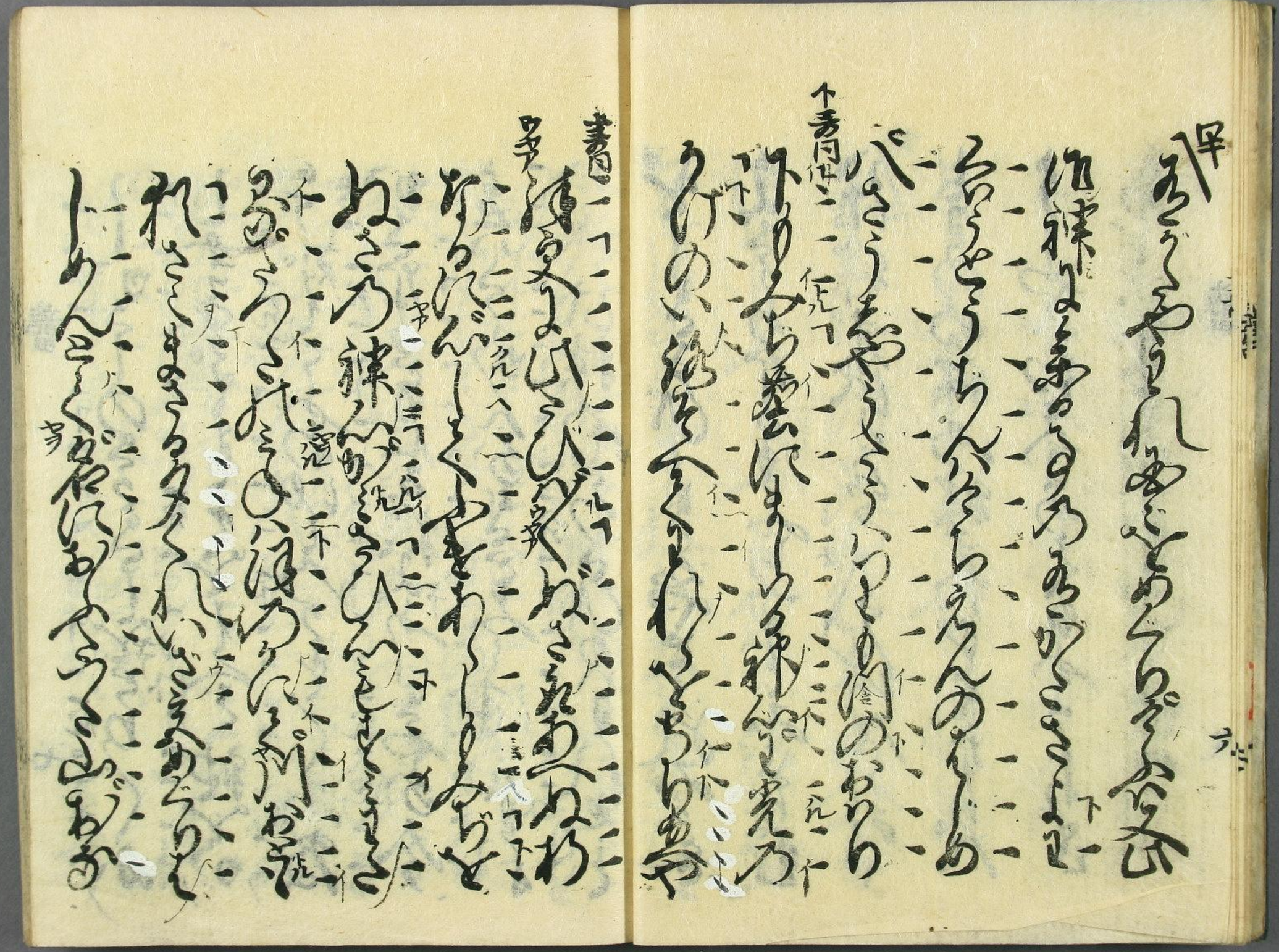
[illegible]

[illegible]

[illegible]

なかれてくだけぬ瀬にあらぬ波みち
ちるべきかぜ　平　わくらはに
もみぢをあらしふきまどふ
女　あきは紅ふかきはみどりなる
はるはあをやぎ　平　ときやかぬ
つまどはるまでなれてこそ

をしきさくらはとうれみのき
ぬぎすてかりのかりがねは
八重咲　女　えんにたうあく
きものの袖乃袖ふるさとだ
うーやハ紅葉よめくるのかすまわぐ
ちと秋末とわぐあまいつ也



[illegible]

[illegible]

[illegible]

劔詩傳

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

龍田

[illegible]

和歌

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

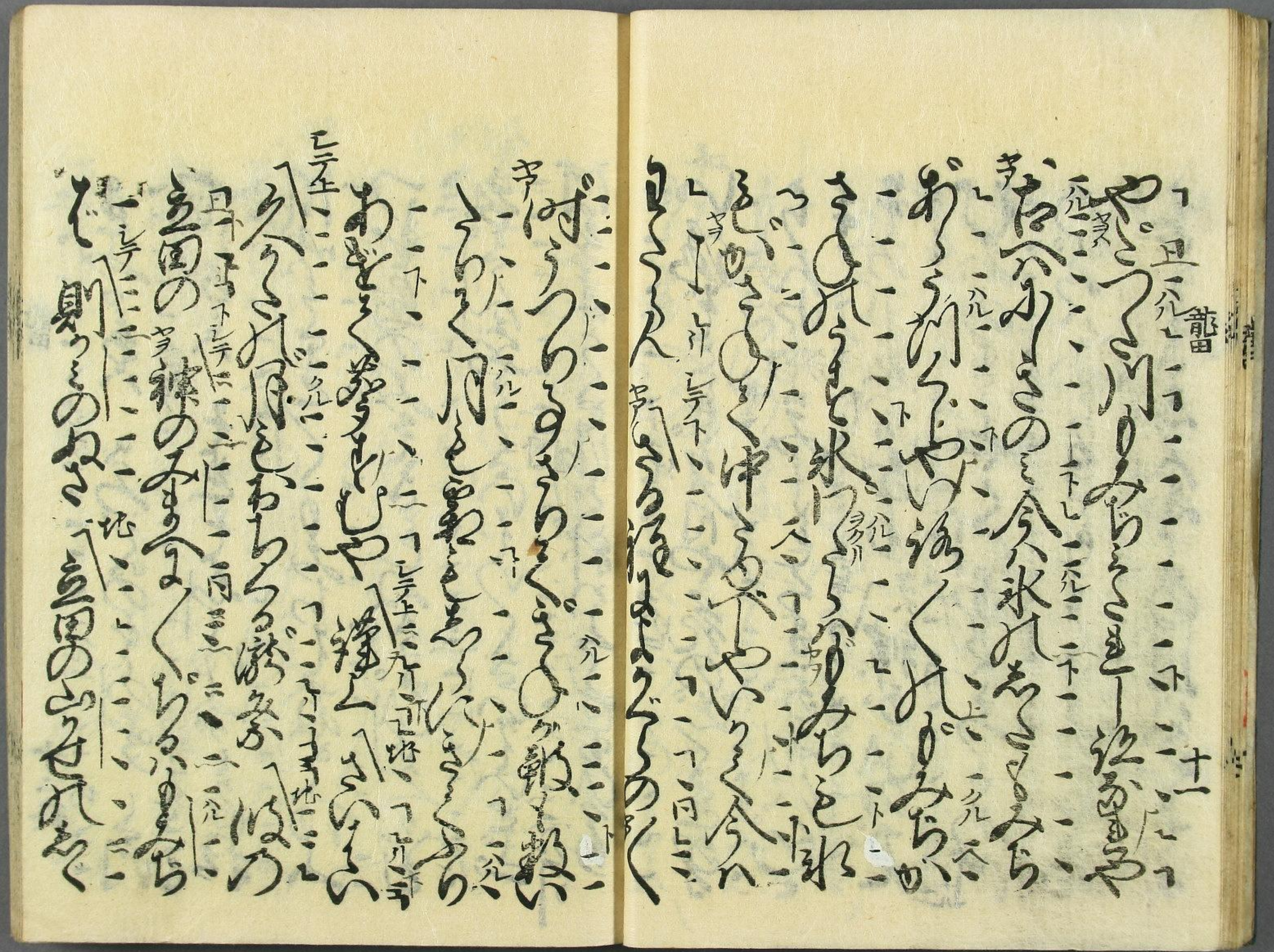
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]



十二終

敷盛　曲出本柏子トル今者八一柏子三斤地
佐中丘

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ゆとまるよりけふをとおまりみ
はいつらく袖より袖乃海さわら
くゆふ見まる山れ岩にぞ鶴
乃ばばらいと吊ひやさやとひは
ゆ九重乃雲井と都くゆ月のく
蘭ふりくるふか車乃とと山湾とう

ちすれくだるあれの水いるゆ波
ふりくやをもの浦乃岩ゆ波
なるらく　思ふ袖よりほの思一
袖て袖くゆ成よ黄月ゆ袖今れ
袖よひわ　まてゆ　あれうへの
よあ月くしあえ乃秋の空ゆ山

人とおもはるべあらんかたらひ
ぬるやとおもひ
「若中納言」
あそこへ
吹こしの風成
りゐのこゑ
なまじいの
ずうり
浦
ぞうそ
上方
とはの浦
らしかく
あまりよな

[illegible]
[illegible]
[illegible]

全
第りの九月の末ころの奇しき夕の
空のけしきはいとゝ世の常ならず
あるかぎりの人のかなしびそゝる
美しく色ハなりて梅ゝ桜ゝ
さくらは 第の前 木ゝ
奇の 月 空 と
月 月 月 月
ものもとるんにしもの
色おもしろき
月夜の夕の
月夜の夕の

[illegible]
[illegible]
[illegible]

会式の生花不絵　とてもあるべ
なるべしとおもひてもちねべきなり毎日
毎朝のお弔ひあるべきなり我わと
もがさんをくもりなきようひとく
おかうしをるべきなり我ひとて
湯をんてをくなるべく　日上人

付くもちつくひのくがつとかく
て和りをとうべ会佛ア数度そない
て和をお弔をんくわたくしかく迎
お子をおいをけい称をあるをまの
冥をおくそべいつ生数盛をそ系
つをくを　日上人

しほうをとりてぎとうをひきまる
きわの鬱気をまらのかをやゝ梅しわ
てまちやん。仏ハ
説乃因果とくとうんかをよ毫
甲 引とそやゝ一会らさん仏
そくめけしやうとうんぎのきやうとろ

さんせうまうけしとそ世を帝
らくろくそ何のかんをハわらを海
ろ 甲 ひとうあ 外敵
仏のとうけのえん 見の徳生ゝ
甲 ひとうあ 同法ふうを とハ又
甲 獄の法乃 引 愛ら 見やわくの

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

上三句

ウ

秋草の花ひらけて野とまけて

ちりぬるやとしらぬあるらん

ぬるとしらぬ

しらやかわけつまもあの

きんをろこ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

上言

乳

ゆきとうとかうさむうさ寒さ

ぐ〜梅雨の色はまふんふの月も

たまとそしもあさそしにおくる

男行

いふ見かる女性よ多くすのひ

荷

何事ぞ〜ぞ　梅雨　といつ〜ひ

そ女見そあふれあんそそ

平

ふるやふなふうれ山ふうれ点

名乃とれ兵うそめそとの名ぶやん

ぶそれとき京ふきめやんとう後

社人女れそそめうあびつうを

なる接人金人角ぶ家ふう筆社

ふ兵ふふれみんさうそでうんと

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

条

[illegible]
[illegible]
人めいわくなるものをとさ
[illegible]
くるとのしれどそなとあ
[illegible]
つよしゑ[illegible]やうあさうなとよ
[illegible]
たりひまあるさうちとらへおさうと
[illegible]
しまのめうぶとられまうひうもの

[illegible]
[illegible]
ひとひとりばうちうをうかとしな
[illegible]
くれうのはやとくくまとてぐひ
[illegible]
のまうすゑうさうれれうのひさ
[illegible]
もたてそうしくゑ風よまとくを
[illegible]
まうひれさゆうしちかちて

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ひぐらしあかとあを
元一下
らもいまのゆめとしれどと
こそとひとへ　平
やさくたひとすのぶのくいく
しかうをかれえそめ
ゆふはひぐらしをもえ

やすえぐとろ世そう
どうげくあろ　女　かさ
ほへもとのつぐそうとさわ
きひぐとろ　平　いを
いくさとひて
去ろけそく　女　ほかさえ

[illegible]
くるとめうらうらと多みてをやる
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

つ[illegible]ん[illegible]と[illegible]と[illegible]と[illegible]山を

[illegible]風[illegible]ひ[illegible]ぎわを[illegible]

[illegible]ひ[illegible]や[illegible]の[illegible]

[illegible]わ[illegible]そ[illegible]おけ[illegible]

[illegible]よ[illegible]よ[illegible]

隅田河

異有

[illegible]乃國角田川の

[illegible]そ[illegible]と[illegible]

[illegible]と波[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

人数とあつまりめいぎを申さ
ばくに人　賞男　とも
六月二十一日　黒色東の橋衣
くに見もたるくろかみ
男行　かぶりよりあかの新乃あをそい紙
東よりあるく人乃袖ばかれ
あるく只今ばかりはあをそ履

わとをとりよりあつて　十九日
哭くろ乃とをとるくろ乃
二十一日　袖よりあつをとをとる川
ぶりよりあくつ付よりくり
何　赤い袖よりあをいかや角田川の
ちりてゆくあれとそれい赤の

出いづる雲のうへとねがいて私
以後無事のふるさとに
中ゝ乃ゝ百れ人べ先づ出い
わとれ〳〵かゝる相そうよい事
何ゝうそいて
過程のゝりいづ面白う

程いとおしよ
無紙とゝめくば相と待ふとる
ゝそいて
ゝゝゝ

角田

やいとの色は松の
書とるあるくへ
の春のよし
くまん
とめるあるる
ど高くよ

いわ坂の雪のあとをたずま
とやよくりぬと中のよりん紅
つぞあるとみ
てぶふり
春はもえぬ
雪のよりかひ

とびそひ[illegible]くるやうこたへ
新とよろこぶ[illegible]の別も見あや
[illegible]ゐるんの果やうんびさのまと
[illegible]つさの中よりも角田川をも付
よろしく　女房
[illegible]ぶく我とも無
よのせくなりうく　男房　[illegible]

くるる伯方へくるる人を　女　見い新
よりくと暮くるとかくるんをして　男　新
乃人とひ程人とひ面白う程で
色々程とひ[illegible]毎うれのせう
ひそとよ　女　うてやお角田川の
波しるみ[illegible]ひ見もれね春の月と

社頃の人々れ[九]ん[十]ぢ[十一]のごとく色紙の
たんざくよりのるあるとこりる角田
河のまてまるこ[十二]ぬ[十三]ぬ[十四]ぬ[十五]ぬ[十六]ぬ[十七]ぬ[十八]ぬ[十九]ぬ[二十]ぬ[二十一]ぬ[二十二]ぬ[二十三]ぬ[二十四]ぬ[二十五]ぬ[二十六]ぬ[二十七]ぬ[二十八]ぬ[二十九]ぬ[三十]ぬ[三十一]ぬ[三十二]ぬ[三十三]ぬ[三十四]ぬ[三十五]ぬ[三十六]ぬ[三十七]ぬ[三十八]ぬ[三十九]ぬ[四十]ぬ[四十一]ぬ[四十二]ぬ[四十三]ぬ[四十四]ぬ[四十五]ぬ[四十六]ぬ[四十七]ぬ[四十八]ぬ[四十九]ぬ[五十]ぬ[五十一]ぬ[五十二]ぬ[五十三]ぬ[五十四]ぬ[五十五]ぬ[五十六]ぬ[五十七]ぬ[五十八]ぬ[五十九]ぬ[六十]ぬ[六十一]ぬ[六十二]ぬ[六十三]ぬ[六十四]ぬ[六十五]ぬ[六十六]ぬ[六十七]ぬ[六十八]ぬ[六十九]ぬ[七十]ぬ[七十一]ぬ[七十二]ぬ[七十三]ぬ[七十四]ぬ[七十五]ぬ[七十六]ぬ[七十七]ぬ[七十八]ぬ[七十九]ぬ[八十]ぬ[八十一]ぬ[八十二]ぬ[八十三]ぬ[八十四]ぬ[八十五]ぬ[八十六]ぬ[八十七]ぬ[八十八]ぬ[八十九]ぬ[九十]ぬ[九十一]ぬ[九十二]ぬ[九十三]ぬ[九十四]ぬ[九十五]ぬ[九十六]ぬ[九十七]ぬ[九十八]ぬ[九十九]ぬ[百]ぬ[百一]ぬ[百二]ぬ[百三]ぬ[百四]ぬ[百五]ぬ[百六]ぬ[百七]ぬ[百八]ぬ[百九]ぬ[百十]ぬ[百十一]ぬ[百十二]ぬ[百十三]ぬ[百十四]ぬ[百十五]ぬ[百十六]ぬ[百十七]ぬ[百十八]ぬ[百十九]ぬ[百二十]ぬ[百二十一]ぬ[百二十二]ぬ[百二十三]ぬ[百二十四]ぬ[百二十五]ぬ[百二十六]ぬ[百二十七]ぬ[百二十八]ぬ[百二十九]ぬ[百三十]ぬ[百三十一]ぬ[百三十二]ぬ[百三十三]ぬ[百三十四]ぬ[百三十五]ぬ[百三十六]ぬ[百三十七]ぬ[百三十八]ぬ[百三十九]ぬ[百四十]ぬ[百四十一]ぬ[百四十二]ぬ[百四十三]ぬ[百四十四]ぬ[百四十五]ぬ[百四十六]ぬ[百四十七]ぬ[百四十八]ぬ[百四十九]ぬ[百五十]ぬ[百五十一]ぬ[百五十二]ぬ[百五十三]ぬ[百五十四]ぬ[百五十五]ぬ[百五十六]ぬ[百五十七]ぬ[百五十八]ぬ[百五十九]ぬ[百六十]ぬ[百六十一]ぬ[百六十二]ぬ[百六十三]ぬ[百六十四]ぬ[百六十五]ぬ[百六十六]ぬ[百六十七]ぬ[百六十八]ぬ[百六十九]ぬ[百七十]ぬ[百七十一]ぬ[百七十二]ぬ[百七十三]ぬ[百七十四]ぬ[百七十五]ぬ[百七十六]ぬ[百七十七]ぬ[百七十八]ぬ[百七十九]ぬ[百八十]ぬ[百八十一]ぬ[百八十二]ぬ[百八十三]ぬ[百八十四]ぬ[百八十五]ぬ[百八十六]ぬ[百八十七]ぬ[百八十八]ぬ[百八十九]ぬ[百九十]ぬ[百九十一]ぬ[百九十二]ぬ[百九十三]ぬ[百九十四]ぬ[百九十五]ぬ[百九十六]ぬ[百九十七]ぬ[百九十八]ぬ[百九十九]ぬ[二百]ぬ[二百一]ぬ[二百二]ぬ[二百三]ぬ[二百四]ぬ[二百五]ぬ[二百六]ぬ[二百七]ぬ[二百八]ぬ[二百九]ぬ[二百十]ぬ[二百十一]ぬ[二百十二]ぬ[二百十三]ぬ[二百十四]ぬ[二百十五]ぬ[二百十六]ぬ[二百十七]ぬ[二百十八]ぬ[二百十九]ぬ[二百二十]ぬ[二百二十一]ぬ[二百二十二]ぬ[二百二十三]ぬ[二百二十四]ぬ[二百二十五]ぬ[二百二十六]ぬ[二百二十七]ぬ[二百二十八]ぬ[二百二十九]ぬ[二百三十]ぬ[二百三十一]ぬ[二百三十二]ぬ[二百三十三]ぬ[二百三十四]ぬ[二百三十五]ぬ[二百三十六]ぬ[二百三十七]ぬ[二百三十八]ぬ[二百三十九]ぬ[二百四十]ぬ[二百四十一]ぬ[二百四十二]ぬ[二百四十三]ぬ[二百四十四]ぬ[二百四十五]ぬ[二百四十六]ぬ[二百四十七]ぬ[二百四十八]ぬ[二百四十九]ぬ[二百五十]ぬ[二百五十一]ぬ[二百五十二]ぬ[二百五十三]ぬ[二百五十四]ぬ[二百五十五]ぬ[二百五十六]ぬ[二百五十七]ぬ[二百五十八]ぬ[二百五十九]ぬ[二百六十]ぬ[二百六十一]ぬ[二百六十二]ぬ[二百六十三]ぬ[二百六十四]ぬ[二百六十五]ぬ[二百六十六]ぬ[二百六十七]ぬ[二百六十八]ぬ[二百六十九]ぬ[二百七十]ぬ[二百七十一]ぬ[二百七十二]ぬ[二百七十三]ぬ[二百七十四]ぬ[二百七十五]ぬ[二百七十六]ぬ[二百七十七]ぬ[二百七十八]ぬ[二百七十九]ぬ[二百八十]ぬ[二百八十一]ぬ[二百八十二]ぬ[二百八十三]ぬ[二百八十四]ぬ[二百八十五]ぬ[二百八十六]ぬ[二百八十七]ぬ[二百八十八]ぬ[二百八十九]ぬ[二百九十]ぬ[二百九十一]ぬ[二百九十二]ぬ[二百九十三]ぬ[二百九十四]ぬ[二百九十五]ぬ[二百九十六]ぬ[二百九十七]ぬ[二百九十八]ぬ[二百九十九]ぬ[三百]ぬ[三百一]ぬ[三百二]ぬ[三百三]ぬ[三百四]ぬ[三百五]ぬ[三百六]ぬ[三百七]ぬ[三百八]ぬ[三百九]ぬ[三百十]ぬ[三百十一]ぬ[三百十二]ぬ[三百十三]ぬ[三百十四]ぬ[三百十五]ぬ[三百十六]ぬ[三百十七]ぬ[三百十八]ぬ[三百十九]ぬ[三百二十]ぬ[三百二十一]ぬ[三百二十二]ぬ[三百二十三]ぬ[三百二十四]ぬ[三百二十五]ぬ[三百二十六]ぬ[三百二十七]ぬ[三百二十八]ぬ[三百二十九]ぬ[三百三十]ぬ[三百三十一]ぬ[三百三十二]ぬ[三百三十三]ぬ[三百三十四]ぬ[三百三十五]ぬ[三百三十六]ぬ[三百三十七]ぬ[三百三十八]ぬ[三百三十九]ぬ[三百四十]ぬ[三百四十一]ぬ[三百四十二]ぬ[三百四十三]ぬ[三百四十四]ぬ[三百四十五]ぬ[三百四十六]ぬ[三百四十七]ぬ[三百四十八]ぬ[三百四十九]ぬ[三百五十]ぬ[三百五十一]ぬ[三百五十二]ぬ[三百五十三]ぬ[三百五十四]ぬ[三百五十五]ぬ[三百五十六]ぬ[三百五十七]ぬ[三百五十八]ぬ[三百五十九]ぬ[三百六十]ぬ[三百六十一]ぬ[三百六十二]ぬ[三百六十三]ぬ[三百六十四]ぬ[三百六十五]ぬ[三百六十六]ぬ[三百六十七]ぬ[三百六十八]ぬ[三百六十九]ぬ[三百七十]ぬ[三百七十一]ぬ[三百七十二]ぬ[三百七十三]ぬ[三百七十四]ぬ[三百七十五]ぬ[三百七十六]ぬ[三百七十七]ぬ[三百七十八]ぬ[三百七十九]ぬ[三百八十]ぬ[三百八十一]ぬ[三百八十二]ぬ[三百八十三]ぬ[三百八十四]ぬ[三百八十五]ぬ[三百八十六]ぬ[三百八十七]ぬ[三百八十八]ぬ[三百八十九]ぬ[三百九十]ぬ[三百九十一]ぬ[三百九十二]ぬ[三百九十三]ぬ[三百九十四]ぬ[三百九十五]ぬ[三百九十六]ぬ[三百九十七]ぬ[三百九十八]ぬ[三百九十九]ぬ[四百]ぬ[四百一]ぬ[四百二]ぬ[四百三]ぬ[四百四]ぬ[四百五]ぬ[四百六]ぬ[四百七]ぬ[四百八]ぬ[四百九]ぬ[四百十]ぬ[四百十一]ぬ[四百十二]ぬ[四百十三]ぬ[四百十四]ぬ[四百十五]ぬ[四百十六]ぬ[四百十七]ぬ[四百十八]ぬ[四百十九]ぬ[四百二十]ぬ[四百二十一]ぬ[四百二十二]ぬ[四百二十三]ぬ[四百二十四]ぬ[四百二十五]ぬ[四百二十六]ぬ[四百二十七]ぬ[四百二十八]ぬ[四百二十九]ぬ[四百三十]ぬ[四百三十一]ぬ[四百三十二]ぬ[四百三十三]ぬ[四百三十四]ぬ[四百三十五]ぬ[四百三十六]ぬ[四百三十七]ぬ[四百三十八]ぬ[四百三十九]ぬ[四百四十]ぬ[四百四十一]ぬ[四百四十二]ぬ[四百四十三]ぬ[四百四十四]ぬ[四百四十五]ぬ[四百四十六]ぬ[四百四十七]ぬ[四百四十八]ぬ[四百四十九]ぬ[五百]ぬ[五百一]ぬ[五百二]ぬ[五百三]ぬ[五百四]ぬ[五百五]ぬ[五百六]ぬ[五百七]ぬ[五百八]ぬ[五百九]ぬ[五百十]ぬ[五百十一]ぬ[五百十二]ぬ[五百十三]ぬ[五百十四]ぬ[五百十五]ぬ[五百十六]ぬ[五百十七]ぬ[五百十八]ぬ[五百十九]ぬ[五百二十]ぬ[五百二十一]ぬ[五百二十二]ぬ[五百二十三]ぬ[五百二十四]ぬ[五百二十五]ぬ[五百二十六]ぬ[五百二十七]ぬ[五百二十八]ぬ[五百二十九]ぬ[五百三十]ぬ[五百三十一]ぬ[五百三十二]ぬ[五百三十三]ぬ[五百三十四]ぬ[五百三十五]ぬ[五百三十六]ぬ[五百三十七]ぬ[五百三十八]ぬ[五百三十九]ぬ[五百四十]ぬ[五百四十一]ぬ[五百四十二]ぬ[五百四十三]ぬ[五百四十四]ぬ[五百四十五]ぬ[五百四十六]ぬ[五百四十七]ぬ[五百四十八]ぬ[五百四十九]ぬ[五百五十]ぬ[五百五十一]ぬ[五百五十二]ぬ[五百五十三]ぬ[五百五十四]ぬ[五百五十五]ぬ[五百五十六]ぬ[五百五十七]ぬ[五百五十八]ぬ[五百五十九]ぬ[五百六十]ぬ[五百六十一]ぬ[五百六十二]ぬ[五百六十三]ぬ[五百六十四]ぬ[五百六十五]ぬ[五百六十六]ぬ[五百六十七]ぬ[五百六十八]ぬ[五百六十九]ぬ[五百七十]ぬ[五百七十一]ぬ[五百七十二]ぬ[五百七十三]ぬ[五百七十四]ぬ[五百七十五]ぬ[五百七十六]ぬ[五百七十七]ぬ[五百七十八]ぬ[五百七十九]ぬ[五百八十]ぬ[五百八十一]ぬ[五百八十二]ぬ[五百八十三]ぬ[五百八十四]ぬ[五百八十五]ぬ[五百八十六]ぬ[五百八十七]ぬ[五百八十八]ぬ[五百八十九]ぬ[五百九十]ぬ[五百九十一]ぬ[五百九十二]ぬ[五百九十三]ぬ[五百九十四]ぬ[五百九十五]ぬ[五百九十六]ぬ[五百九十七]ぬ[五百九十八]ぬ[五百九十九]ぬ[六百]ぬ[六百一]ぬ[六百二]ぬ[六百三]ぬ[六百四]ぬ[六百五]ぬ[六百六]ぬ[六百七]ぬ[六百八]ぬ[六百九]ぬ[六百十]ぬ[六百十一]ぬ[六百十二]ぬ[六百十三]ぬ[六百十四]ぬ[六百十五]ぬ[六百十六]ぬ[六百十七]ぬ[六百十八]ぬ[六百十九]ぬ[六百二十]ぬ[六百二十一]ぬ[六百二十二]ぬ[六百二十三]ぬ[六百二十四]ぬ[六百二十五]ぬ[六百二十六]ぬ[六百二十七]ぬ[六百二十八]ぬ[六百二十九]ぬ[六百三十]ぬ[六百三十一]ぬ[六百三十二]ぬ[六百三十三]ぬ[六百三十四]ぬ[六百三十五]ぬ[六百三十六]ぬ[六百三十七]ぬ[六百三十八]ぬ[六百三十九]ぬ[六百四十]ぬ[六百四十一]ぬ[六百四十二]ぬ[六百四十三]ぬ[六百四十四]ぬ[六百四十五]ぬ[六百四十六]ぬ[六百四十七]ぬ[六百四十八]ぬ[六百四十九]ぬ[六百五十]ぬ[六百五十一]ぬ[六百五十二]ぬ[六百五十三]ぬ[六百五十四]ぬ[六百五十五]ぬ[六百五十六]ぬ[六百五十七]ぬ[六百五十八]ぬ[六百五十九]ぬ[六百六十]ぬ[六百六十一]ぬ[六百六十二]ぬ[六百六十三]ぬ[六百六十四]ぬ[六百六十五]ぬ[六百六十六]ぬ[六百六十七]ぬ[六百六十八]ぬ[六百六十九]ぬ[六百七十]ぬ[六百七十一]ぬ[六百七十二]ぬ[六百七十三]ぬ[六百七十四]ぬ[六百七十五]ぬ[六百七十六]ぬ[六百七十七]ぬ[六百七十八]ぬ[六百七十九]ぬ[六百八十]ぬ[六百八十一]ぬ[六百八十二]ぬ[六百八十三]ぬ[六百八十四]ぬ[六百八十五]ぬ[六百八十六]ぬ[六百八十七]ぬ[六百八十八]ぬ[六百八十九]ぬ[六百九十]ぬ[六百九十一]ぬ[六百九十二]ぬ[六百九十三]ぬ[六百九十四]ぬ[六百九十五]ぬ[六百九十六]ぬ[六百九十七]ぬ[六百九十八]ぬ[六百九十九]ぬ[七百]ぬ[七百一]ぬ[七百二]ぬ[七百三]ぬ[七百四]ぬ[七百五]ぬ[七百六]ぬ[七百七]ぬ[七百八]ぬ[七百九]ぬ[七百十]ぬ[七百十一]ぬ[七百十二]ぬ[七百十三]ぬ[七百十四]ぬ[七百十五]ぬ[七百十六]ぬ[七百十七]ぬ[七百十八]ぬ[七百十九]ぬ[七百二十]ぬ[七百二十一]ぬ[七百二十二]ぬ[七百二十三]ぬ[七百二十四]ぬ[七百二十五]ぬ[七百二十六]ぬ[七百二十七]ぬ[七百二十八]ぬ[七百二十九]ぬ[七百三十]ぬ[七百三十一]ぬ[七百三十二]ぬ[七百三十三]ぬ[七百三十四]ぬ[七百三十五]ぬ[七百三十六]ぬ[七百三十七]ぬ[七百三十八]ぬ[七百三十九]ぬ[七百四十]ぬ[七百四十一]ぬ[七百四十二]ぬ[七百四十三]ぬ[七百四十四]ぬ[七百四十五]ぬ[七百四十六]ぬ[七百四十七]ぬ[七百四十八]ぬ[七百四十九]ぬ[七百五十]ぬ[七百五十一]ぬ[七百五十二]ぬ[七百五十三]ぬ[七百五十四]ぬ[七百五十五]ぬ[七百五十六]ぬ[七百五十七]ぬ[七百五十八]ぬ[七百五十九]ぬ[七百六十]ぬ[七百六十一]ぬ[七百六十二]ぬ[七百六十三]ぬ[七百六十四]ぬ[七百六十五]ぬ[七百六十六]ぬ[七百六十七]ぬ[七百六十八]ぬ[七百六十九]ぬ[七百七十]ぬ[七百七十一]ぬ[七百七十二]ぬ[七百七十三]ぬ[七百七十四]ぬ[七百七十五]ぬ[七百七十六]ぬ[七百七十七]ぬ[七百七十八]ぬ[七百七十九]ぬ[七百八十]ぬ[七百八十一]ぬ[七百八十二]ぬ[七百八十三]ぬ[七百八十四]ぬ[七百八十五]ぬ[七百八十六]ぬ[七百八十七]ぬ[七百八十八]ぬ[七百八十九]ぬ[七百九十]ぬ[七百九十一]ぬ[七百九十二]ぬ[七百九十三]ぬ[七百九十四]ぬ[七百九十五]ぬ[七百九十六]ぬ[七百九十七]ぬ[七百九十八]ぬ[七百九十九]ぬ[八百]ぬ[八百一]ぬ[八百二]ぬ[八百三]ぬ[八百四]ぬ[八百五]ぬ[八百六]ぬ[八百七]ぬ[八百八]ぬ[八百九]ぬ[八百十]ぬ[八百十一]ぬ[八百十二]ぬ[八百十三]ぬ[八百十四]ぬ[八百十五]ぬ[八百十六]ぬ[八百十七]ぬ[八百十八]ぬ[八百十九]ぬ[八百二十]ぬ[八百二十一]ぬ[八百二十二]ぬ[八百二十三]ぬ[八百二十四]ぬ[八百二十五]ぬ[八百二十六]ぬ[八百二十七]ぬ[八百二十八]ぬ[八百二十九]ぬ[八百三十]ぬ[八百三十一]ぬ[八百三十二]ぬ[八百三十三]ぬ[八百三十四]ぬ[八百三十五]ぬ[八百三十六]ぬ[八百三十七]ぬ[八百三十八]ぬ[八百三十九]ぬ[八百四十]ぬ[八百四十一]ぬ[八百四十二]ぬ[八百四十三]ぬ[八百四十四]ぬ[八百四十五]ぬ[八百四十六]ぬ[八百四十七]ぬ[八百四十八]ぬ[八百四十九]ぬ[八百五十]ぬ[八百五十一]ぬ[八百五十二]ぬ[八百五十三]ぬ[八百五十四]ぬ[八百五十五]ぬ[八百五十六]ぬ[八百五十七]ぬ[八百五十八]ぬ[八百五十九]ぬ[八百六十]ぬ[八百六十一]ぬ[八百六十二]ぬ[八百六十三]ぬ[八百六十四]ぬ[八百六十五]ぬ[八百六十六]ぬ[八百六十七]ぬ[八百六十八]ぬ[八百六十九]ぬ[八百七十]ぬ[八百七十一]ぬ[八百七十二]ぬ[八百七十三]ぬ[八百七十四]ぬ[八百七十五]ぬ[八百七十六]ぬ[八百七十七]ぬ[八百七十八]ぬ[八百七十九]ぬ[八百八十]ぬ[八百八十一]ぬ[八百八十二]ぬ[八百八十三]ぬ[八百八十四]ぬ[八百八十五]ぬ[八百八十六]ぬ[八百八十七]ぬ[八百八十八]ぬ[八百八十九]ぬ[八百九十]ぬ[八百九十一]ぬ[八百九十二]ぬ[八百九十三]ぬ[八百九十四]ぬ[八百九十五]ぬ[八百九十六]ぬ[八百九十七]ぬ[八百九十八]ぬ[八百九十九]ぬ[九百]ぬ[九百一]ぬ[九百二]ぬ[九百三]ぬ[九百四]ぬ[九百五]ぬ[九百六]ぬ[九百七]ぬ[九百八]ぬ[九百九]ぬ[九百十]ぬ[九百十一]ぬ[九百十二]ぬ[九百十三]ぬ[九百十四]ぬ[九百十五]ぬ[九百十六]ぬ[九百十七]ぬ[九百十八]ぬ[九百十九]ぬ[九百二十]ぬ[九百二十一]ぬ[九百二十二]ぬ[九百二十三]ぬ[九百二十四]ぬ[九百二十五]ぬ[九百二十六]ぬ[九百二十七]ぬ[九百二十八]ぬ[九百二十九]ぬ[九百三十]ぬ[九百三十一]ぬ[九百三十二]ぬ[九百三十三]ぬ[九百三十四]ぬ[九百三十五]ぬ[九百三十六]ぬ[九百三十七]ぬ[九百三十八]ぬ[九百三十九]ぬ[九百四十]ぬ[九百四十一]ぬ[九百四十二]ぬ[九百四十三]ぬ[九百四十四]ぬ[九百四十五]ぬ[九百四十六]ぬ[九百四十七]ぬ[九百四十八]ぬ[九百四十九]ぬ[九百五十]ぬ[九百五十一]ぬ[九百五十二]ぬ[九百五十三]ぬ[九百五十四]ぬ[九百五十五]ぬ[九百五十六]ぬ[九百五十七]ぬ[九百五十八]ぬ[九百五十九]ぬ[九百六十]ぬ[九百六十一]ぬ[九百六十二]ぬ[九百六十三]ぬ[九百六十四]ぬ[九百六十五]ぬ[九百六十六]ぬ[九百六十七]ぬ[九百六十八]ぬ[九百六十九]ぬ[九百七十]ぬ[九百七十一]ぬ[九百七十二]ぬ[九百七十三]ぬ[九百七十四]ぬ[九百七十五]ぬ[九百七十六]ぬ[九百七十七]ぬ[九百七十八]ぬ[九百七十九]ぬ[九百八十]ぬ[九百八十一]ぬ[九百八十二]ぬ[九百八十三]ぬ[九百八十四]ぬ[九百八十五]ぬ[九百八十六]ぬ[九百八十七]ぬ[九百八十八]ぬ[九百八十九]ぬ[九百九十]ぬ[九百九十一]ぬ[九百九十二]ぬ[九百九十三]ぬ[九百九十四]ぬ[九百九十五]ぬ[九百九十六]ぬ[九百九十七]ぬ[九百九十八]ぬ[九百九十九]ぬ[千]ぬ[千一]ぬ[千二]ぬ[千三]ぬ[千四]ぬ[千五]ぬ[千六]ぬ[千七]ぬ[千八]ぬ[千九]ぬ[千十]ぬ[千十一]ぬ[千十二]ぬ[千十三]ぬ[千十四]ぬ[千十五]ぬ[千十六]ぬ[千十七]ぬ[千十八]ぬ[千十九]ぬ[千二十]ぬ[千二十一]ぬ[千二十二]ぬ[千二十三]ぬ[千二十四]ぬ[千二十五]ぬ[千二十六]ぬ[千二十七]ぬ[千二十八]ぬ[千二十九]ぬ[千三十]ぬ[千三十一]ぬ[千三十二]ぬ[千三十三]ぬ[千三十四]ぬ[千三十五]ぬ[千三十六]ぬ[千三十七]ぬ[千三十八]ぬ[千三十九]ぬ[千四十]ぬ[千四十一]ぬ[千四十二]ぬ[千四十三]ぬ[千四十四]ぬ[千四十五]ぬ[千四十六]ぬ[千四十七]ぬ[千四十八]ぬ[千四十九]ぬ[千五十]ぬ[千五十一]ぬ[千五十二]ぬ[千五十三]ぬ[千五十四]ぬ[千五十五]ぬ[千五十六]ぬ[千五十七]ぬ[千五十八]ぬ[千五十九]ぬ[千六十]ぬ[千六十一]ぬ[千六十二]ぬ[千六十三]ぬ[千六十四]ぬ[千六十五]ぬ[千六十六]ぬ[千六十七]ぬ[千六十八]ぬ[千六十九]ぬ[千七十]ぬ[千七十一]ぬ[千七十二]ぬ[千七十三]ぬ[千七十四]ぬ[千七十五]ぬ[千七十六]ぬ[千七十七]ぬ[千七十八]ぬ[千七十九]ぬ[千八十]ぬ[千八十一]ぬ[千八十二]ぬ[千八十三]ぬ[千八十四]ぬ[千八十五]ぬ[千八十六]ぬ[千八十七]ぬ[千八十八]ぬ[千八十九]ぬ[千九十]ぬ[千九十一]ぬ[千九十二]ぬ[千九十三]ぬ[千九十四]ぬ[千九十五]ぬ[千九十六]ぬ[千九十七]ぬ[千九十八]ぬ[千九十九]ぬ[二千]ぬ[二千一]ぬ[二千二]ぬ[二千三]ぬ[二千四]ぬ[二千五]ぬ[二千六]ぬ[二千七]ぬ[二千八]ぬ[二千九]ぬ[二千十]ぬ[二千十一]ぬ[二千十二]ぬ[二千十三]ぬ[二千十四]ぬ[二千十五]ぬ[二千十六]ぬ[二千十七]ぬ[二千十八]ぬ[二千十九]ぬ[二千二十]ぬ[二千二十一]ぬ[二千二十二]ぬ[二千二十三]ぬ[二千二十四]ぬ[二千二十五]ぬ[二千二十六]ぬ[二千二十七]ぬ[二千二十八]ぬ[二千二十九]ぬ[二千三十]ぬ[二千三十一]ぬ[二千三十二]ぬ[二千三十三]ぬ[二千三十四]ぬ[二千三十五]ぬ[二千三十六]ぬ[二千三十七]ぬ[二千三十八]ぬ[二千三十九]ぬ[二千四十]ぬ[二千四十一]ぬ[二千四十二]ぬ[二千四十三]ぬ[二千四十四]ぬ[二千四十五]ぬ[二千四十六]ぬ[二千四十七]ぬ[二千四十八]ぬ[二千四十九]ぬ[二千五十]ぬ[二千五十一]ぬ[二千五十二]ぬ[二千五十三]ぬ[二千五十四]ぬ[二千五十五]ぬ[二千五十六]ぬ[二千五十七]ぬ[二千五十八]ぬ[二千五十九]ぬ[二千六十]ぬ[二千六十一]ぬ[二千六十二]ぬ[二千六十三]ぬ[二千六十四]ぬ[二千六十五]ぬ[二千六十六]ぬ[二千六十七]ぬ[二千六十八]ぬ[二千六十九]ぬ[二千七十]ぬ[二千七十一]ぬ[二千七十二]ぬ[二千七十三]ぬ[二千七十四]ぬ[二千七十五]ぬ[二千七十六]ぬ[二千七十七]ぬ[二千七十八]ぬ[二千七十九]ぬ[二千八十]ぬ[二千八十一]ぬ[二千八十二]ぬ[二千八十三]ぬ[二千八十四]ぬ[二千八十五]ぬ[二千八十六]ぬ[二千八十七]ぬ[二千八十八]ぬ[二千八十九]ぬ[二千九十]ぬ[二千九十一]ぬ[二千九十二]ぬ[二千九十三]ぬ[二千九十四]ぬ[二千九十五]ぬ[二千九十六]ぬ[二千九十七]ぬ[二千九十八]ぬ[二千九十九]ぬ[三千]ぬ[三千一]ぬ[三千二]ぬ[三千三]ぬ[三千四]ぬ[三千五]ぬ[三千六]ぬ[三千七]ぬ[三千八]ぬ[三千九]ぬ[三千十]ぬ[三千十一]ぬ[三千十二]ぬ[三千十三]ぬ[三千十四]ぬ[三千十五]ぬ[三千十六]ぬ[三千十七]ぬ[三千十八]ぬ[三千十九]ぬ[三千二十]ぬ[三千二十一]ぬ[三千二十二]ぬ[三千二十三]ぬ[三千二十四]ぬ[三千二十五]ぬ[三千二十六]ぬ[三千二十七]ぬ[三千二十八]ぬ[三千二十九]ぬ[三千三十]ぬ[三千三十一]ぬ[三千三十二]ぬ[三千三十三]ぬ[三千三十四]ぬ[三千三十五]ぬ[三千三十六]ぬ[三千三十七]ぬ[三千三十八]ぬ[三千三十九]ぬ[三千四十]ぬ[三千四十一]ぬ[三千四十二]ぬ[三千四十三]ぬ[三千四十四]ぬ[三千四十五]ぬ[三千四十六]ぬ[三千四十七]ぬ[三千四十八]ぬ[三千四十九]ぬ[三千五十]ぬ[三千五十一]ぬ[三千五十二]ぬ[三千五十三]ぬ[三千五十四]ぬ[三千五十五]ぬ[三千五十六]ぬ[三千五十七]ぬ[三千五十八]ぬ[三千五十九]ぬ[三千六十]ぬ[三千六十一]ぬ[三千六十二]ぬ[三千六十三]ぬ[三千六十四]ぬ[三千六十五]ぬ[三千六十六]ぬ[三千六十七]ぬ[三千六十八]ぬ[三千六十九]ぬ[三千七十]ぬ[三千七十一]ぬ[三千七十二]ぬ[三千七十三]ぬ[三千七十四]ぬ[三千七十五]ぬ[三千七十六]ぬ[三千七十七]ぬ[三千七十八]ぬ[三千七十九]ぬ[三千八十]ぬ[三千八十一]ぬ[三千八十二]ぬ[三千八十三]ぬ[三千八十四]ぬ[三千八十五]ぬ[三千八十六]ぬ[三千八十七]ぬ[三千八十八]ぬ[三千八十九]ぬ[三千九十]ぬ[三千九十一]ぬ[三千九十二]ぬ[三千九十三]ぬ[三千九十四]ぬ[三千九十五]ぬ[三千九十六]ぬ[三千九十七]ぬ[三千九十八]ぬ[三千九十九]ぬ[四千]ぬ[四千一]ぬ[四千二]ぬ[四千三]ぬ[四千四]ぬ[四千五]ぬ[四千六]ぬ[四千七]ぬ[四千八]ぬ[四千九]ぬ[四千十]ぬ[四千十一]ぬ[四千十二]ぬ[四千十三]ぬ[四千十四]ぬ[四千十五]ぬ[四千十六]ぬ[四千十七]ぬ[四千十八]ぬ[四千十九]ぬ[四千二十]ぬ[四千二十一]ぬ[四千二十二]ぬ[四千二十三]ぬ[四千二十四]ぬ[四千二十五]ぬ[四千二十六]ぬ[四千二十七]ぬ[四千二十八]ぬ[四千二十九]ぬ[四千三十]ぬ[四千三十一]ぬ[四千三十二]ぬ[四千三十三]ぬ[四千三十四]ぬ[四千三十五]ぬ[四千三十六]ぬ[四千三十七]ぬ[四千三十八]ぬ[四千三十九]ぬ[四千四十]ぬ[四千四十一]ぬ[四千四十二]ぬ[四千四十三]ぬ[四千四十四]ぬ[四千四十五]ぬ[四千四十六]ぬ[四千四十七]ぬ[四千四十八]ぬ[四千四十九]ぬ[四千五十]ぬ[四千五十一]ぬ[四千五十二]ぬ[四千五十三]ぬ[四千五十四]ぬ[四千五十五]ぬ[四千五十六]ぬ[四千五十七]ぬ[四千五十八]ぬ[四千五十九]ぬ[四千六十]ぬ[四千六十一]ぬ[四千六十二]ぬ[四千六十三]ぬ[四千六十四]ぬ[四千六十五]ぬ[四千六十六]ぬ[四千六十七]ぬ[四千六十八]ぬ[四千六十九]ぬ[四千七十]ぬ[四千七十一]ぬ[四千七十二]ぬ[四千七十三]ぬ[四千七十四]ぬ[四千七十五]ぬ[四千七十六]ぬ[四千七十七]ぬ[四千七十八]ぬ[四千七十九]ぬ[四千八十]ぬ[四千八十一]ぬ[四千八十二]ぬ[四千八十三]ぬ[四千八十四]ぬ[四千八十五]ぬ[四千八十六]ぬ[四千八十七]ぬ[四千八十八]ぬ[四千八十九]ぬ[四千九十]ぬ[四千九十一]ぬ[四千九十二]ぬ[四千九十三]ぬ[四千九十四]ぬ[四千九十五]ぬ[四千九十六]ぬ[四千九十七]ぬ[四千九十八]ぬ[四千九十九]ぬ[五千]ぬ[五千一]ぬ[五千二]ぬ[五千三]ぬ[五千四]ぬ[五千五]ぬ[五千六]ぬ[五千七]ぬ[五千八]ぬ[五千九]ぬ[五千十]ぬ[五千十一]ぬ[五千十二]ぬ[五千十三]ぬ[五千十四]ぬ[五千十五]ぬ[五千十六]ぬ[五千十七]ぬ[五千十八]ぬ[五千十九]ぬ[五千二十]ぬ[五千二十一]ぬ[五千二十二]ぬ[五千二十三]ぬ[五千二十四]ぬ[五千二十五]ぬ[五千二十六]ぬ[五千二十七]ぬ[五千二十八]ぬ[五千二十九]ぬ[五千三十]ぬ[五千三十一]ぬ[五千三十二]ぬ[五千三十三]ぬ[五千三十四]ぬ[五千三十五]ぬ[五千三十六]ぬ[五千三十七]ぬ[五千三十八]ぬ[五千三十九]ぬ[五千四十]ぬ[五千四十一]ぬ[五千四十二]ぬ[五千四十三]ぬ[五千四十四]ぬ[五千四十五]ぬ[五千四十六]ぬ[五千四十七]ぬ[五千四十八]ぬ[五千四十九]ぬ[五千五十]ぬ[五千五十一]ぬ[五千五十二]ぬ[五千五十三]ぬ[五千五十四]ぬ[五千五十五]ぬ[五千五十六]ぬ[五千五十七]ぬ[五千五十八]ぬ[五千五十九]ぬ[五千六十]ぬ[五千六十一]ぬ[五千六十二]ぬ[五千六十三]ぬ[五千六十四]ぬ[五千六十五]ぬ[五千六十六]ぬ[五千六十七]ぬ[五千六十八]ぬ[五千六十九]ぬ[五千七十]ぬ[五千七十一]ぬ[五千七十二]ぬ[五千七十三]ぬ[五千七十四]ぬ[五千七十五]ぬ[五千七十六]ぬ[五千七十七]ぬ[五千七十八]ぬ[五千七十九]ぬ[五千八十]ぬ[五千八十一]ぬ[五千八十二]ぬ[五千八十三]ぬ[五千八十四]ぬ[五千八十五]ぬ[五千八十六]ぬ[五千八十七]ぬ[五千八十八]ぬ[五千八十九]ぬ[五千九十]ぬ[五千九十一]ぬ[五千九十二]ぬ[五千九十三]ぬ[五千九十四]ぬ[五千九十五]ぬ[五千九十六]ぬ[五千九十七]ぬ[五千九十八]ぬ[五千九十九]ぬ[六千]ぬ[六千一]ぬ[六千二]ぬ[六千三]ぬ[六千四]ぬ[六千五]ぬ[六千六]ぬ[六千七]ぬ[六千八]ぬ[六千九]ぬ[六千十]ぬ[六千十一]ぬ[六千十二]ぬ[六千十三]ぬ[六千十四]ぬ[六千十五]ぬ[六千十六]ぬ[六千十七]ぬ[六千十八]ぬ[六千十九]ぬ[六千二十]ぬ[六千二十一]ぬ[六千二十二]ぬ[六千二十三]ぬ[六千二十四]ぬ[六千二十五]ぬ[六千二十六]ぬ[六千二十七]ぬ[六千二十八]ぬ[六千二十九]ぬ[六千三十]ぬ[六千三十一]ぬ[六千三十二]ぬ[六千三十三]ぬ[六千三十四]ぬ[六千三十五]ぬ[六千三十六]ぬ[六千三十七]ぬ[六千三十八]ぬ[六千三十九]ぬ[六千四十]ぬ[六千四十一]ぬ[六千四十二]ぬ[六千四十三]ぬ[六千四十四]ぬ[六千四十五]ぬ[六千四十六]ぬ[六千四十七]ぬ[六千四十八]ぬ[六千四十九]ぬ[六千五十]ぬ[六千五十一]ぬ[六千五十二]ぬ[六千五十三]ぬ[六千五十四]ぬ[六千五十五]ぬ[六千五十六]ぬ[六千五十七]ぬ[六千五十八]ぬ[六千五十九]ぬ[六千六十]ぬ[六千六十一]ぬ[六千六十二]ぬ[六千六十三]ぬ[六千六十四]ぬ[六千六十五]ぬ[六千六十六]ぬ[六千六十七]ぬ[六千六十八]ぬ[六千六十九]ぬ[六千七十]ぬ[六千七十一]ぬ[六千七十二]ぬ[六千七十三]ぬ[六千七十四]ぬ[六千七十五]ぬ[六千七十六]ぬ[六千七十七]ぬ[六千七十八]ぬ[六千七十九]ぬ[六千八十]ぬ[六千八十一]ぬ[六千八十二]ぬ[六千八十三]ぬ[六千八十四]ぬ[六千八十五]ぬ[六千八十六]ぬ[六千八十七]ぬ[六千八十八]ぬ[六千八十九]ぬ[六千九十]ぬ[六千九十一]ぬ[六千九十二]ぬ[六千九十三]ぬ[六千九十四]ぬ[六千九十五]ぬ[六千九十六]ぬ[六千九十七]ぬ[六千九十八]

滴ってゐる雨たれに濡れたれば
山角田川まで白に成るとぞ新名所
いろは歌　（つきぬ）　実と濡れ口ばしり
雲雨まじりあんくて新名
といろは中さく　（女）　沖乃かりがね
夕涼の　（平）　前よりあり日ぐれ

（女）　ぬれやあり　やとと　ひしき色　（平）　新乃
人と思ひ妻　（女）　ぬれ　東よ思
ひるの行思と　（上）　ふの間しかの
（平）　妻と思ひ　（女）　ぬと鶴ぬる色
（平）　思ひの間　（女）　恋らあれい　（上）　紙
色又いさまと　（上）　ん新名ぐ　紙首

角田

さいかちのわかりやあ、やくとへた
くらとへねいらて新多郡出
多とやいひてまつ三やふあれ
ふかりの河のこかうにたる
つ多くい新多郡波江色い
又角田川の東遠くいかうあ

堂くもきあるあ色とくい波
しあ新とうてせてたのせ
多波しあ去とくいのせてひ
平内
ひらやうきあ程ふとうとあひ
てふかの家人山波りい大あの波り
まてひまひて新よめられ

男付
あふあの河ひの柳のかすみ人乃名
ゆくあすがまりていはいの行あそいそ
罕付
さんいわれいだ忘れてはそれを付
て数ある和語のいぶ山桜の色人付
ちん程ようつてきてもしてきと
初語
はりそれ 楓色去年三月十六日

ぶつ色と見て相あてはぶ高人
乃都より年の程十三ようりある
おさ面れ去年異人て異人ゆる
ぶ物さ面れ去ぶいまこ面ゆる藤乃
つれりやぶ乃乃ゆるをいーどと
一是色ひれとくば河岸よひ

是郎はとゞめんかう世の情あるにん
のはなしばかりあるにんとかたまう病
して枕て商人は奥へ下つくひ毒
百姓色のくすばかりあるにんの渥
とんいりよりうるこうしたんしはかれ
ばくふの病ものえんたゞおせのうる
てらやひろんだようりよりう
渡りまつこうみ時おとこいつく
りの姉人をこゞ又の后宮とも色
勢くへば紙に新れ白河よ吉田の病
某とゞ一人乃奥ひとりよりてひう
又すのとくれ毋半のまひまるせい

しゞ人高くよりかくいたしてかゝりの
ゆかの人乃足を新色染りてい
へばこの多り小つぼあてだるに
柳と種こく塩ぬしやうが
公仏ぬを色とあへつるこゝ敷てい
どんかう長多る物ゝそいたゞと

世の新中ゝ色ゝ新の人色ゝ
ゝ色ゝ遊郭ゝ清ゝ
中帰ゝ人ゝ色ゝ色物ゝ多り付
ていとゝ清ゝ人男ゝ稼今
日ゝ昼ゝ遊郭仕ゝ遊郭
ゝ長仏ゝ

甲 いうに美濃程ぶ伯とく母よりいかりなを
あくわらうへ美濃や今の御殿と
宮をひて藤源しはよりふ意てを
より見うへ 女 あふ母へどの御殿
いかりのゆそはて 甲 去年三月
ゆふのゆそは 女 御をちこれ年六

甲 十二ゆい 女 主の名い 甲 御名乃 女 又の
名字へ 甲 右田の伯ゝ 女 御をちはい
親とくを名乃 甲 親とくを名
と 女 まりて母とくを名なよるの
甲 品のをちはる 女 あふ親とくを
あとくを名ゆ仕理りあんをお

さめたる社ばかりなりけるを
使へとよばふもいと哀なりやいと
哀なる法師乃ぬしの
よそれのみこそ有とく〳〵御供せ
のみそこひなるや悪病りやいと
上女 ひどくいたりけんと社まれ社ば

なる東ふりさけたるいとあはれ
ぬるとり斗どかるるよりよ御もしん
やあの海とこそ生て東のつく
のぞりのもりの去とかくぞ云の岩の花を
生ぬるりるぞ下りの社ろうわや
下内 去とくいへとも山越ぬ中とぞ云へとそ一安

角田

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

角田
地一

十五

なむあみだぶつ　女一　なむあみだぶつ　なむあみだぶつ

なむあみだぶつ　女二　なむあみだぶつ　なむあみだぶつ

なむあみだぶつ　菊

なむあみだぶつ　なむあみだぶつ

なむあみだぶつ　なむあみだぶつ

なむあみだぶつ　なむあみだぶつ

角印

十六紙

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ちやうりさまやをねぶいそれいか
さんべえいやくあくぶつをくい
ぶんかいかいかんやをひい
ぶんかいかいかんやをくんまい
梅を我ひとくふかをくんまい
ぎまのわらなるらまれわいを海
がんをとをとをいわんのんぶをん

下ニ行
まちかをとわをそ絵しやをんろぶを
ろかちまをのかをどおをくあくを
れをんろをそをぶをををををぶを
めををわをんををろあを絵時ををを
をんををよををそをいをををくを
階
なをくわををある法備よりををを

乃ち　善知鳥行　あれすゝぶそ　シテ二　みちの
くはらいでたちかへり
ぞのゝ海ちかくハまとをいたるも
ものごとに秋ハまさりてぶつまよ
やまの月とはるひとぞし
よはみのかさしひけくしおも

シテ　ワキ　ハまひもとりぬす
とうとをうらはものうぶごけけん
さらしなぶ屋をとまるはるはるは
さらなりぶハのそはけくはやま
うれはうらんをハ　シテ　ハたてうあ
ちるまくをハうひるまぶやぶひ

わらはあらし世のぺんの時まそひ世
中　八ル　ニト
うかさそれわさらねの袖とと
　　青
さく見えとうしふをぶみそを
　　三ニト
色くあひ衣ゥくぐらうへゆく
　　ニル
そうわれへ雲やうちうそ山
ニト
のこうあもあ色ぬうくとあく
　　ハル
そうへわくへうさ世八海うしや分
ニト
くくうんとうとくあうとうと
ニル　ニト　三ウ　ハル　毎上
なわひうらくく八うんやうとう
もちうあ世うかうひそとわ
ニト
あひあうもゆあうの世のわうん
ちううとんわひのうまれあを

早行

いふひ屋の西へあんぎやいりん

毋行

ワキ

そ一見れば獨りぬるそ海そ

ちやうりやうの海そ

きむ人のすがみちのくへそ

ハきつくそ

そ海そ

ちまきは着ぬそ

秋身まくひぎそ

あつひそ

ちくれ

みやこの花はさかりなれ
てこのごろ時めきしるわさなれ
独とをとこのあらくはげしき
まくもらくこのあらくはげしき
しめしあはせるすれば
こゝにこゝにこゝにこゝに
ものやあさましやこのたわさ

上冊

ものなさんのごとくわへるみさ
こゝにこゝにこゝにこゝに
くかさらなるわまちたんすくか
きれるすかまちたいさやうなとをれた
こゝにこゝにこゝにこゝに
ろ多ばかしおとをまるふらしを海
こゝにこゝにこゝにこゝに
おゆをもくをさうなるうへ金色
こゝにこゝにこゝにこゝに
つまおしくまんまん

上冊

善知

六

もゝかはらうとゝ紙ぐく一き

なまたわとまとしはだそくるをけるそ

あらかつれうとゝやなうくそれまう

とうつひろはしはさひうとくの

ぜひはまうとゝやのそむなるこの

かさとそたしをくしくて

ゆうまいとゝやうしとん

せうはいみちのくそこの海

なかつこ島あくなるこいだとよ

なとうこんそこうつと三あ

ゆうとうこんのくくだひし

いとうたぶくとゝのろ

善知

七

[illegible]
つまうくたうしたわけうんとやたうひ
くまんたうしたんなりたうやうかうち
くらめさえんめへ世う絵けた
せう絵つかあけたけもひおうと
しばらあうけひとうきうつきの

ぶいけうやきそうれ多くさ酒をこ
絵し　きあさひおよさうろきぶ
ちの同ようたうしあ俗　ウヤ　ぶいちち
のくうぐあけうきあ拓きれきつ
えたまうけたんあれもと色ちる
うらゆきのまうきんまのときやうぐこ

善知

八

[illegible]

[illegible]

[illegible]

やがて今まで分んしひめ松のぢ
うかやいほふこうく生うさそほの浦
のこのやさ松やこのあ人
なこも我紙ぶさ人やそこれそと
ハこみのかさそへかのうる松
ものやうちあ人もれい
そこれそ海子島孫小点てなくら
みのうそたさ
うこくとそ多ひあらぢこう
見いらこ山ぶうい川こい
ちくこもこいとおまのこのこう
こやれひこ生ぢ川こ月こんこよ

善知鳥

善郭

十一

善知

十二

[illegible]

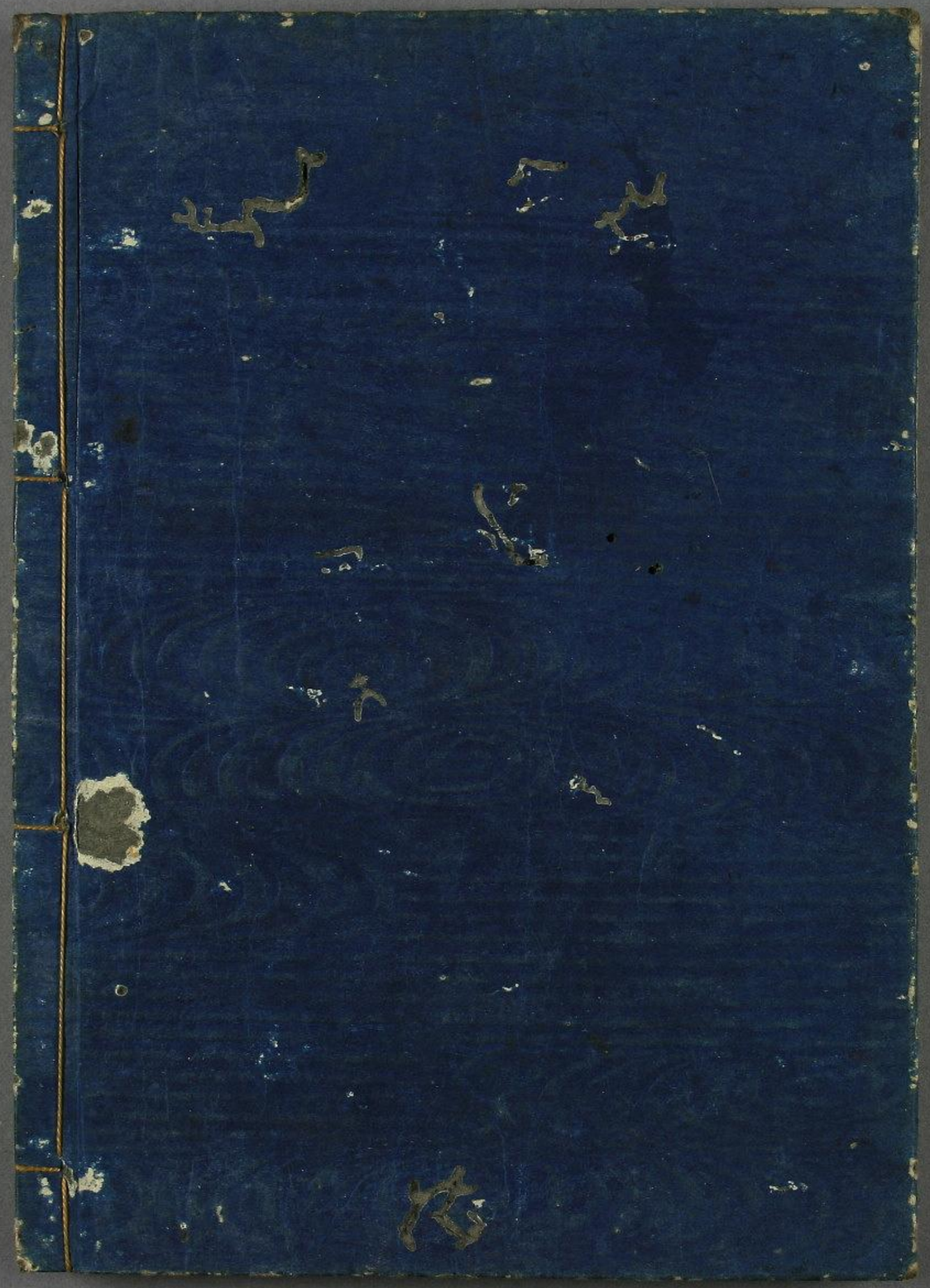
上月

[illegible]

[illegible]

[illegible]

善知

十三終

三月十日初
四月三日休